

## 小田原市SDGsに体感事業 「おだちん」

小田原市が掲げる「持続可能な地域社会の実現」は、国連で決められた誰ひとり取り残さない「持続可能な開発目標 (SDGs)」と趣旨は同義です。同市の持続可能な地域社会の実現に向けて、人の力に着目して推進していく方針は、国からも評価され、令和元年7月にSDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業に選定されました。

小田原市では、SDGsの普及啓発を目的に、2つの柱で事業を進めています。

1つは『SDGs推進事業』で、小田原市と一緒にSDGsの普及啓発に取り組んでくれるパートナーを民間企業だけでなく、学校や団体等にも広く募集し、現在192のパートナーと一緒に活動をしています。主な活動は、市内の小中学校にパートナーと出向き、SDGsのゴールである2030年に主役となる若い世代に向けて、普及啓発を行っています。また、パートナー同士の交流も大事にしている、そこから新たなイノベーションが生まれることも期待されています。

もう1つが『SDGs体感事業』で、神奈川県をつながりポイント事業と連携して小田原で展開している、小田原市が全国で初めて本格的に導入したアプリ「まちのコイン:おだちん」(小田原のポイントの名称)です。SDGsを知らない人、難しいと感じている人でも、「すでにSDGsに関連する取組を行っている」ことを感じ取って頂くのがSDGs体感事業です。SDGsの体感の先にある課題解決への気づきをもたらすほか、人と人がつながることで課題解決のすそ野を広げていきます。その第一歩として、人と人をつなげる仕組みを展開しています。

この「おだちん」は、SDGsに関連した取組を行う際に、仕事としてお金を払うほどでもないがボランティアとしてお手伝いしてもらうには重すぎる

ような事柄に対して、お礼ができるコミュニティポイントです。アプリを使いスポットと呼ばれる店舗等と利用者との間でポイントをやり取りできます。令和2年2月24日からプレスタートし、令和4年2月9日現在でスポットの参加が108か所、アプリ利用者数も3,725人に達しました。

アプリ「おだちん」の特徴は2つあります。1つ目は『SDGsの普及につながる』ことです。本アプリで提供される体験とSDGsの関係が可視化されることで、身近な行動がSDGsに貢献できることを知り、自分自身のこととして体感できるのです。例えば、年に数回実施している『袖ヶ浜ビーチクリーンアップ&ひものBBQ』の取組では、利用者は本アプリを通して「14 海の豊かさを守ろう」等の目標に貢献できたことを知り、体感することができます。

2つ目は『ゲーム感覚で楽しめる』ことです。本アプリは、ポイントを貯めていくとレベルがあがるほか、チャレンジやスタンプ機能などが充実していて、利用者はゲーム感覚でアプリを楽しみながらSDGsを体感することができます。

「おだちん」では、今後はスポットと利用者のつながりだけでなく、スポット同士・ユーザー同士にもつながりが生まれる機能を追加し、SDGsを体感しながらより多くの人がつながり、課題解決を行うきっかけ作りを目指していきます。



「おだちん」を使ったスポットさんとのやりとりの風景